

日本骨髄バンクのドナー登録者数が20万人に到達

～ 目標ドナー登録30万人 ～

財団法人骨髄移植推進財団
理事長 高久史磨

11月25日(木)、ドナー登録者数は20万人に到達しました(累計では25万人)。また、17日(水)には骨髄移植例数も6000例へ達しています。ドナー登録者の方々をはじめ、関係者の皆様のご理解とご尽力に心から感謝いたします。

日本骨髄バンク(骨髄移植推進財団、東京都千代田区、理事長:高久史磨)は、白血病などの血液難病に苦しむ患者を救命するため、平成3年(1991)12月に発足しました。以来、広く国民の皆様からドナー登録者を募集し、患者さんへの橋渡しに努めています。

平成4年(1992)1月6日のドナー登録受付開始から12年11ヵ月目の11月25日、ドナー登録者は20万68人となりました。また骨髄移植例数も6000例に達しています(17日、6002例)。

一方で、昨年登録された国内患者さんのうち、約4割はいまだに移植を受けられていない現実があります。ひとりでも多くの患者さんに移植の機会を提供するには、目標ドナー登録者数30万人達成を一日も早く実現しなければなりません。ドナー登録の機会を増やすことはもちろん、ドナー候補者が判明してから移植に至るまでの期間短縮など、さまざまな課題が残されています。

日本骨髄バンクは、ドナー登録者数が20万人に到達するまでのこの間、移植を受けられずお亡くなりになられた患者さんのことを決して忘れることなく、すべての患者さんに骨髄提供できる日を目指し、全力で取り組んでまいります。

軌跡

ドナー登録者数

1992年 1月	日本赤十字社でドナー登録受付開始
1994年 5月	ドナー登録者数5万人到達
1994年10月	保健所でドナー登録受付開始
1998年 8月	ドナー登録者数10万人到達
1999年 7月	ドナー集団登録会開始
2001年 8月	移動献血会場でのドナー登録受付、全国展開へ
2002年 2月	ドナー登録者数15万人到達
2004年11月	ドナー登録者数20万人到達(25日)

骨髄移植例数

1992年 6月	患者登録受付開始 コーディネート開始
1993年 1月	骨髄バンクによる初の非血縁者間骨髄移植実施(28日)
1994年 2月	骨髄移植例数100例
1995年 9月	骨髄移植例数500例
1997年 1月	骨髄移植例数1000例(29日)
1999年 1月	H L A一部不適合、年齢拡大など移植希望患者の適応拡大
1999年 5月	骨髄移植例数2000例(13日)
2000年11月	骨髄移植例数3000例(16日)
2002年 3月	骨髄移植例数4000例(27日)
2003年 8月	骨髄移植例数5000例(1日)
2004年11月	骨髄移植例数6000例(17日)

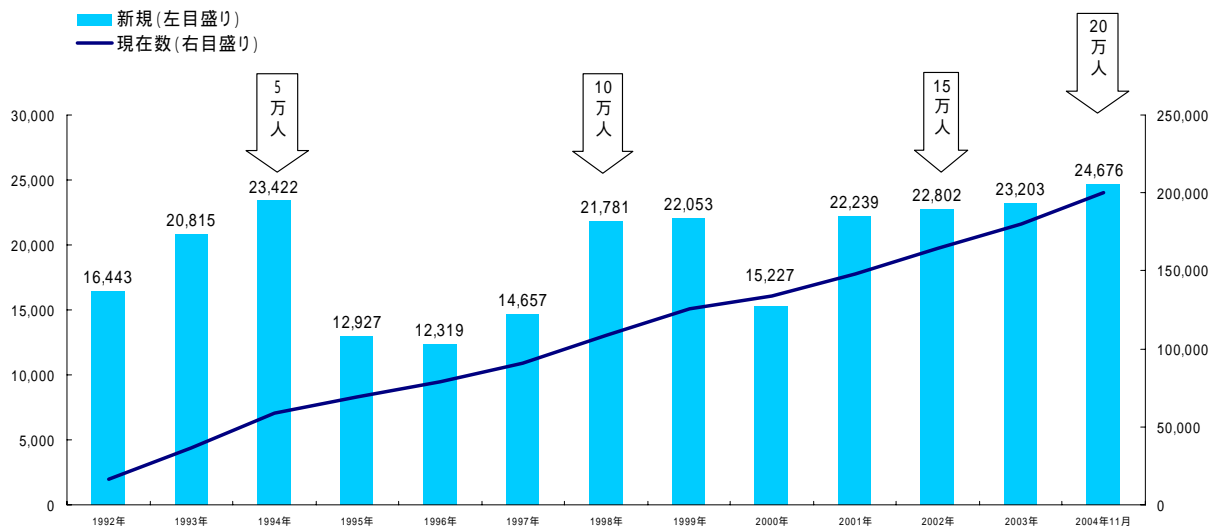
日本骨髄バンク(骨髄移植推進財団)

1991年12月、患者家族とボランティア、医師らの要望を受け、厚生省(当時)の許可によって設立。日本赤十字社・都道府県等の協力を得て20歳~50歳までの健康な人に骨髄提供(ドナー)登録を呼びかけ、血縁にドナーがいない患者への橋渡しをしている。白血病などの血液難病に有効な治療法である骨髄移植は、患者とドナー登録者の白血球の型が一致することが条件。適合の確率は兄弟姉妹間で4分の1、非血縁の他人同士では数百分~数万分の1。2004年10月末現在、移植を希望する登録患者は2751人。そのうち約2割は適合するドナーが1人もいない。

プレスリリース

平成16年(2004) 11月26日発信 骨髄移植推進財団

ドナー登録者数の推移



棒グラフの数字は、年間の新規登録者数
折れ線グラフは、取消数を引いた現在数

移植例数の推移

